

あつぎ市議会だより

第242号 発行日/2018年11月15日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

9月定例会議

平成29年度決算7件を認定

一般質問 安心安全・教育・道路を論議

9月定例会議は、8月30日から10月5日までの会議期間37日間で開かれました。

市長から初日に提出された議案は、教育長や教育委員会委員の任命のほか、平成29年度一般会計など7会計の歳入歳出決算、条例の制定・改正、工事請負契約の締結、市道路線の認定、一般会計補正予算の24議案です。このうち、「教育長の任命について」「教育委員会委員の任命について」のほか、初日に採決した「厚木市手数料条例の一部を改正する条例について」を除いた21議案は質疑終了後、上程された陳情とともに所管の常任委員会に付託されました。

本会議第2日から第4日までの3日間、議員22人が登壇し、一般質問が行われました。第4日には、「教育長の任命について」に対す

る質疑が行われ、採決の結果、賛成全員で同意しました。

また、休会中に各常任委員会が開かれ、付託された案件に対し、慎重な審査が行われました。

最終日、「教育委員会委員の任命について」に対する質疑が行われ、採決の結果、賛成全員で同意しました。その後、各常任委員長からの審査結果報告、3会派による討論が行われ、採決の結果、委員会に付託された全議案を認定・可決しました。

さらに、市長から「監査委員の選任について」の議案1件、議員から「国による義務教育財源の保障及び教育の機会均等と水準の維持・向上、並びに行き届いた教育の実現を求める意見書について」の議案1件が追加提出され、いずれも同意・可決しました。



沖縄県糸満市との友好都市締結を記念し「かりゆしウェア」を着用して本会議を実施。また、議案審議においてタブレット端末機を初めて使用した。(8月7日開催の第3回会議)

平成29年度決算

認定した決算議案は、一般会計・特別会計・病院事業会計の7件です。

決算議案は、所管の常任委員会に分割付託し、平成29年度の事業執行について、質疑を行ったほか、今後の行財政運営に関し、執行機関に要望を行いました。(各常任委員会からの要望は8面参照。)

条例の制定

可決した条例の制定議案は、「厚木市立あつぎ

郷土博物館条例」の1件

内容は、博物館法の規定に基づき、博物館を設置するため、制定するものです。

条例の改正

可決した条例の一部改正議案は4件です。「厚木市手数料条例」の主な改正内容は、建築基準法の一部改正に伴い、接道規制の特例を適用する場合の認定に係る審査手数料を定めるほか、所要の措置を講ずるため、改正するものです。「厚木市立老人憩の家

工事請負契約

可決した工事請負契約の締結議案は1件です。

- ◇契約の目的(仮称)旭町2丁目自転車等駐車場設計・施工業務
- ◇契約金額 2億4300万円
- ◇契約の相手方 日成ビルド工業株式会社神奈川支店

市道の認定

可決した市道路線の認定議案は8件です。内容は、新東名高速道路建設事業に伴い、酒井

補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計の1件です。一般会計補正の主な歳入の内容は、マイナンバーカードなどへの旧氏併記に伴うシステム改修を実施するため、戸籍住民基本台帳等事務費の増額や、市内児童館の遊戯室に前倒して冷暖房機を設置するため、児童館維持補修事業費を増額するものです。このほか、商店街の街路灯LED化を前倒して実施するため、商店街LED化事業補助金の増額、また、聴覚や言語に障がいのある方が、迅速かつ確実に緊急通報が行えるシステムを整備するため、通信指令関係事業費の増額などをするものです。

補正後の予算額、既定の歳入歳出予算に対する

増減額(カッコ内)は次のとおりです。
◇一般会計 872億7844万9千円(8億5652万1千円増)

教育長に 曾田高治氏

曾田高治教育長の任期が満了することに伴い、引き続き同氏を任命したとの議案が市長から提出され、賛成全員で同意しました。

教育委員の任命に同意

教育委員会委員4人のうち、1人の任期が満了することに伴う後任委員として、山本正彦氏(戸室)を任命したいとの議案が市長から提出され、任命することに賛成全員で同意しました。

監査委員に 越智一久氏

議員の中から選出する監査委員が辞職することに伴い、後任委員として越智一久議員(あつぎみらい)を選任したいとの議案が最終日に市長から提出され、賛成全員で同意しました。



越智監査委員

2面下段に続く



市政に関する

一般質問 要旨

今定例会議では、22人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えを問いました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

厚木南地区の自転車等駐車場の概要は

新政あつぎ 井上 武議員



問 規模および今後のスケジュールは。

答 協働安全部長 (仮称) 旭町2丁目自転車等駐車場は敷地面積約367平方メートル、地上3階建て、収容台数は原動機付自転車約50台、自転車約600台で、2020年4月の供用開始を予定している。また、本厚木駅南口地区市街地再開発事業で整備する自転車等駐車場は、再開発ビルの地下1階に自転車約600台の収容を予定している。

●市道昭和用水線の歩道整備

問 道路の片側の歩道が整備されていないが、整備概要は。

答 道路部長 通学路に指定されているが歩道の幅員が狭隘で、通学時



建て替えに向けて、準備が進められている厚木北公民館

間帯の事故の発生が懸念されているため、狭隘区間である東側歩道を整備し、安全な歩行空間の確保を図る。平成30年度は総延長の南側半分の工事手続き中で、来年度に残りの区間の工事を行い事業が完成する予定である。なお、県立厚木清南高校西側交差点から南側の国道129号の区間は既に

厚木市長の在任の期数に関する条例の認識は

あつぎみらい 沼田 幸一議員



問 小林市長は、多選は3期12年とされたと思うが、間違いはないか。

答 市長 厚木市長の在任の期数に関する条例であり、3期を超えない中で、やっていくべきという自粛条例と捉えている。

問 4期を超えて立候補した場合、選挙による市民の判断と考えていると部長が答弁されたが、現在も変わりはないか。

答 市長 今年度、新保を図る。平成30年度は総延長の南側半分の工事手続き中で、来年度に残りの区間の工事を行い事業が完成する予定である。なお、県立厚木清南高校西側交差点から南側の国道129号の区間は既に

●急傾斜地や低地の安全対策

問 繰り返される、驚くような自然災害にどう対応していくのか。

答 市長 今年度、新保を図る。平成30年度は総延長の南側半分の工事手続き中で、来年度に残りの区間の工事を行い事業が完成する予定である。なお、県立厚木清南高校西側交差点から南側の国道129号の区間は既に

●厚木北公民館再整備

問 建て替えについての現状認識と進捗状況は。

答 教育長 中心市街地の公共施設再配置計画に基づき、現在地での再整備に向けて取り組んでいるところである。本年7月に拡張用地の売買契約を締結したため、今後は、第9次厚木市総合計画第4期実施計画に基づき、着実に事業を進めていく。

会議録の閲覧を!

本会議や委員会の詳しい内容は、インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)などで会議録をご覧ください。なお、会議録ができるまでの間は、インターネット議会中継(録画放映)もご覧になれます。

●持続可能な開発のための教育(ESD)

問 8月に文部科学省から国際統括官付専門官に来ていただき、ESDのレクチャーを受けたが、その感想は。

答 学校教育部長 直

●コンピュター・システム改革

問 億単位の予算削減につながるサーバーやホストコンピュターの入替えを促してきたが、結果は。

答 オリニック担当部長

消防団に関する予算を充実させる考えは

無党派 高田 浩議員



問 災害対策の最前線に立つ消防団の予算について、今後の方向性は。

答 消防長 安全装備品や消防資機材の充実と計画的に取り組んでいる。また、公務災害についても、条例による損害補償に加え、消防団員等福祉共済に加盟するなど、福利厚生に取り組んでいる。さらに、災害対応が大規模化の傾向にあり、消防団員に一層負担がかかっているため、処遇改善の一つとして、災害活動時に応じた費用弁償の支給について検討している。

●コンピュター・システム改革

問 億単位の予算削減につながるサーバーやホストコンピュターの入替えを促してきたが、結果は。

答 オリニック担当部長

●コンピュター・システム改革

問 億単位の予算削減につながるサーバーやホストコンピュターの入替えを促してきたが、結果は。

答 オリニック担当部長

●コンピュター・システム改革

問 億単位の予算削減につながるサーバーやホストコンピュターの入替えを促してきたが、結果は。

答 オリニック担当部長

1面から続く

議員提出議案

可決した議員提出議案は、国会や関係行政庁に意見書を提出することを求める1件です。

「国による義務教育財源の保障及び教育の機会均等と水準の維持・向上、並びに行き届いた教育の実現を求める意見書」は、義務教育費国庫負担制度の存続・拡充や、義務教育教科書無償制度の継続などを要望するものです(意見書は4面参照)。

第3回会議を8月7日に開催

第3回会議が8月7日に開かれ、議会運営委員会および常任委員などの選任が行われました(議会運営委員会および常任委員などは9面参照)。

このほか、市長から提出された「工事請負契約の締結について(2件)」「平成30年度一般会計補正予算(第3号)」の3議案に対し、質疑を行った後、採決し、可決しました。

工事請負契約

可決した工事請負契約の締結議案は2件です。

【議案第54号】

◇契約の目的 都市計画道路厚木環状3号線(第2工区)街路整備工事

◇契約金額 35億3550万4200円

◇契約の相手方 岩田地崎・滝美園・中須特別共同企業体

【議案第55号】

◇契約の目的 三田小学校グラウンド整備第2期工事

◇契約金額 2億16万7200円

◇契約の相手方 株式会社安藤組

補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計の1件です。一般会計補正の主な歳出の内容は、まつかげ台児童館のブロック塀などを改修するため、児童館維持補修事業費の増額や、水引第一公園およびまつかげ台中公園のブロック塀などを改修するため、公園緑地整備事業費の増額などを示すものです。

既定の歳入歳出予算に3105万4千円を追加し、補正後の予算額は864億2192万8千円になりました。

主な内容

- ◆一般質問 2~6面
- ◆国に提出した意見書 4面
- ◆委員会の審査 7・8面
- ◆常任委員などの一覧 9面
- ◆本会議の審議結果 10面

農業振興地域の課題と今後の展望は

あつぎみらい 高橋 豊議員



問 農業従事者が高齢化し、後継者不足が常態化する中、今後の展望について見解は。

答 市長 本年7月に農業振興地域整備計画を

変更し、併せて農業生産基盤の整備計画や農業就業者の育成計画などを定

小中学校プールの改修は

あつぎの会 望月 真実議員



問 改修時期と在り方は。

答 教育長 建設から30年を超えるものが多く、老朽化が進んでいること

から、これまでも改修の必要性や在り方などを検討してきた。今後もプールの利用状況を把握するとともに、学校現場の意見などを聞きながら、引き続き検討する。

●公共施設の再整備

問 厚木北公民館、厚木北児童館および厚木市郷土資料館跡地の整備について、部ごとの整備計画ではなく、地区住民の方々が聞いて理解できるような一連の計画はあるか。

答 政策部長 順番的には、郷土資料館が移転して、そこに児童館が移転し、児童館の跡地に公民館を建てるが、具体的にはまだ決まっておらず、関係部署と連携して調整

答 市長 第2次健康食育あつぎプランに8つの取り組み分野を設定し、全庁的に施策展開している。今後も、主要な生活

習慣病の発症予防や重症化予防を図るとともに、市民の健康管理に対する支援に努めていく。

●救急搬送

問 実態と課題は。

答 市長 救急出動件数は年々増加しており、今後も需要の増大が懸念される。安定的かつ持続可能な救急サービスが提

供できるよう、応急手当の普及促進や救急車の適正利用の推進が重要であると認識している。

●学校運営協議会

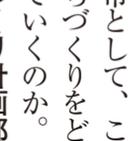
問 全ての市立小中学校に導入したが、今後の取り組みは。

答 教育長 制度への理解を深めていただけ

ようPRに努める他、研修会の実施、先進事例や他校の取り組みの情報提供など、協議会が十分に機能し、継続的に活動できるように支援に努める。

厚木環状3号線整備と区画整理事業との考え方は

あつぎの会 井上 敏夫議員



問 森の里東土地区画整理事業C工区は、厚木環状3号線が開通するこ

とで、負担なく宅地造成ができてしまう。厚木市が市債で事業を進めているが、環状線により宅地

が生きてくることから、市が分担金を取つてもよいのではないか。

答 市街地整備担当部長 厚木環状3号線は区画整理へのメイン道路として整備する。分担金は現在特に考えていない。

●新ごみ中間処理施設

問 都市計画決定するに当たり、中間処理施設の隣にある多目的広場は、多目的施設として決定するのか。または、全体を新ごみ中間処理施設として決定するのか。

答 環境施設担当部長 緑地のエリアを含めた

問 本市の財政への影響は。

答 財務部長 地方消費税交付金が増額されるが、法人市民税の一部国

税化がさらに進むこと、自動車取得税が廃止されること、歳出面では消費税引き上げ分の負担が増えることなど、マイナスの要素が高いと推計する。

問 消費税率導入時、5%、8%引き上げ時、それぞれ現在の生活保護受給世帯数の変化は。

答 福祉部長 導入時の平成元年は290件、5%に上がった9年は386件、8%に上がった26年は2011件、現在は2329件であるが、消費税率そのものの影響はつきり見えていない。

問 課税標準額の階層ごとの変化は。

答 財務部長 市税概要の数値では、消費税導入時の元年度と2年度の比較で、課税標準額120万円以下の層は、2万3633人から2万2741人に減少し、100

問 厚木市として、この地域のまちづくりをどのようにしていくのか。

答 まちづくり計画部長 都市マスタープランの地域別構想の中で、基盤が未整備の市街地や産業用地があることを課題と捉えているため、これから十分に研究していきたい。

●(仮称)厚木北インターチェンジ周辺の土地利用

問 進捗状況は。

答 市長 現在、都市マスタープランの改定作業の中で、将来予想される社会状況の変化に対応した地域づくりの方向性について庁内議論を深めている。

消費税率の引き上げによる影響は

あつぎの会 奈良 握議員



問 本市の財政への影響は。

答 財務部長 地方消費税交付金が増額されるが、法人市民税の一部国

税化がさらに進むこと、自動車取得税が廃止されること、歳出面では消費税引き上げ分の負担が増えることなど、マイナスの要素が高いと推計する。

問 消費税率導入時、5%、8%引き上げ時、それぞれ現在の生活保護受給世帯数の変化は。

答 福祉部長 導入時の平成元年は290件、5%に上がった9年は386件、8%に上がった26年は2011件、現在は2329件であるが、消費税率そのものの影響はつきり見えていない。

問 課税標準額の階層ごとの変化は。

答 財務部長 市税概要の数値では、消費税導入時の元年度と2年度の比較で、課税標準額120万円以下の層は、2万3633人から2万2741人に減少し、100

問 厚木市として、この地域のまちづくりをどのようにしていくのか。

答 まちづくり計画部長 都市マスタープランの地域別構想の中で、基盤が未整備の市街地や産業用地があることを課題と捉えているため、これから十分に研究していきたい。

●(仮称)厚木北インターチェンジ周辺の土地利用

問 進捗状況は。

答 市長 現在、都市マスタープランの改定作業の中で、将来予想される社会状況の変化に対応した地域づくりの方向性について庁内議論を深めている。

広報広聴 特別委員会から

あつぎの会 奈良 握議員



8月22日に第3回あつぎ子ども議会(中学生議会)を開催しました。市内の中学1年生から3年生までの28人が参加し、街灯や防犯灯、人口減少問題、学校生活など、さまざま

な視点から厚木の疑問や問題について、堂々と質問していました。

また、第13回議会報告会を11月18日に依知北公民館で行います。

参加した生徒からは「市長や教育長に質問できて良かった」「市が頑張っていることが分かった」「難しい言

葉が多かったけど、貴重な体験ができた」などの声がありました。このような機会を設けることで、未来を担う子どもたちに議会や市政に関心を持ってもらえたと感じています。

また、第13回議会報告会を11月18日に依知北公民館で行います。

保育所の使用済み紙おむつ持ち帰りの見直しは

新政あつぎ 高橋 知己議員



問 取り組み状況は。

答 市長 保護者の負担軽減や衛生面での安全を確保するため、本年8

月から試験的に、公立保育所4園において、使用済み紙おむつの処分を行っている。今後は、試験運用の結果を踏まえ、課題などを整理し、民間を含む全庁的な導入に向けて検討する。

問 使用済み紙おむつの処分は、保護者はもちろん、保育士や保育所にとってもメリットがあり、職場環境の改善になっているが、賃金や働き方な

ど、現役で働いている保育士への積極的な処遇改善にも取り組む考えは。

答 こども未来部長 保育士の労働環境に注目し、負担軽減や処遇改善、さらに新たな課題である離職防止について、積極的に対処していきたい。

●街路樹のガイドライン

問 平成28年6月の一般質問で、街路樹に対する本市の基本的な考え方や適正な維持管理を計画的に行うことを目的とした、市民に分かりやすいガイドラインが必要との考えが市長から示された

が、策定状況は。

答 市長 2020年度からのガイドライン運用に向け、現地調査を実施し、検討と精査を行っている。今後も、良好な街路樹の維持管理に取り組む。

一般質問 主な質問と答弁



老朽化した給水管の更新は

日本共産党 栗山 香代子議員



問 老朽化した宅地内の給水管の取り換え工事は自分で行うこととなるが、費用がかかりやりきれないという声がある。市民が困っており、漏水で水が無駄になるため、上水道を管理している神奈川県と対応について話し合えないか。

答 都市整備部長 県企業庁が設置を検討している水道事業に係る県・市町調整会議(仮称)で、情報として伝えることは可能であると考えます。

図書館整備の進捗状況

問 具体化はどこまで進んでいるか。

答 教育長 図書館基本

問 ヤードでの火災が連続発生しているが、火災の原因究明と対策は。

自動車解体施設(ヤード)の火災対策は

あつきみらい 渡辺 貞雄議員



問 ヤードでの火災が連続発生しているが、火災の原因究明と対策は。

答 市長 警察と連携しながら出火原因を特定するとともに、火災予防の観点から、関係者に適切な指導を行っている。

問 ヤードに対する立ち入り検査の実施状況は。

答 市長 類似施設について、関係法令に基づき立ち入り検査や現地調査を実施している。

問 消防水利が乏しく、家屋から離れた場所にあ

る上飯山のヤードで火災があったが、消火活動で苦慮された点は何か。

答 消防長 通常放水では全く効果がなく、産業廃棄物を除去しながらの消火活動となり、労力と時間を要した。消防団の協力による河川からの消防水利の確保や中継送水などで、効果的な消防活動が展開できた。

生産緑地地区の指定解除

問 2022年に、指定された土地の約80%が

期限を迎え、生産緑地地

マイナンバーカードの現状と課題は

日本共産党 釘丸 久子議員



問 厚木市の現状は。

答 市長 本年7月1日時点でマイナンバーカード3万473枚を交付しており、交付率は全国平均を2%上回る13.5%である。

問 総務省は2020年8月に医療保険証をマ

称)あつき郷土博物館広場のうち0.5畝は、開館後に公園として整備を進める。整備内容は未定であるが、防災システムを担う都市公園という位置付けのため、一定のオープンスペースの確保が必要であると考えている。整備時期は調整中である。

区の解除が続出すると考えられる。都市農業を守るため、本市の現状と課題は。

答 市長 生産緑地地区をできるだけ確保するため、指定面積要件の引き下げ業務を進めている。今後も国や県の施策と連携し、保全に努めていく。

問 生産緑地地区を都市公園に活用する考えは。

答 市長 指定解除により土地利用が可能となった用地は、都市公園やコミュニティパークとしての土地利用も有効であると認識している。

で、現時点で1322人に名簿提供の同意をいただいている。未返信の方には、再度、同意確認通知を差し上げている。

問 名簿の管理はどのようにしているのか。

答 福祉部長 名簿を提供するに当たり、厚木市避難行動要支援者名簿情報の管理保護及び利用に係る協定書を自主防災隊などと締結している。

問 個別計画の作成状況は。

答 福祉部長 昨年、名簿を地域に提供した時から作成を始め、現時点で931人の個別計画書が作成済みである。

避難行動要支援者名簿

問 整備状況と同意未確認の方への対応は。

答 福祉部長 名寄せ後の対象者は2532人

高齢者福祉について 実態と課題は

あつきみらい 松田 則康議員



問 老老介護の実態と対応策をどう捉えているか。

答 市長 一昨年の厚生労働省の国民生活基礎調査では、老老介護の世帯の割合が54.7%に達したと発表されている。本市では、地域の見守り活動や地域包括支援センター職員による情報の把握に努めるとともに、高齢者の自宅を直接訪問し、適切な介護サービスにつなぐよう努めている。

子どもの安心安全

問 いじめ、不登校、自殺、虐待について、本市の実情と対策は。

答 教育長 学校およ

可決した意見書

市民生活に重要なことでも、それが国や県の仕事である場合など、市の力で解決できないことがあります。このような場合、市議会では、地方自治法第99条に

基づき、意見書を国会または関係行政庁に提出し、議会としての意思を表明します。9月定例会議で可決した意見書は次の1件です。

国による義務教育財源の保障及び教育の機会均等と水準の維持・向上、並びに行き届いた教育の実現を求める意見書

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で子供たちの豊かな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが必要であり、そのためには教職員定数改善などの施策が重要な課題となっている。また、2018年度から学習指導要領改訂に伴う移行が始まり、教材作成の対応に苦慮する状況となっている。さらに、昨年公表された「教員勤務実態調査」によれば、中学校で約6割、小学校で約3割の教員が、月80時間以上の時間外労働に従事していることが明らかとなっており、文部科学省中央教育審議会においても、長時間労働是正に関わる議論が行われている。

国の施策として定数改善に向けた財源を保障し、子供たちが全国どこに住んでいても一定水準の教育が受けられることは憲法上の要請であり、子供たちの豊かな学びを保障するための条件整備は不可欠である。

よって、国においては、次の事項について実現されるよう強く要望する。

- 1 教育の機会均等、水準の維持・向上、無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続・拡充させること。また、学校事務職員・学校栄養職員をその対象から外さないこと。さらに、義務教育教科書無償制度を継続すること。
- 2 行き届いた教育を実現するために、学級編制標準の見直しや教職員の定数改善、35人以下学級の着実な実施・進行、教職員の長時間労働是正など、教育環境を整備するための予算を確保・拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年10月5日

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

小中一貫教育

問 導入後の成果は。

答 教育長 基本的な生活習慣の改善や、学力向上に効果が見られた。また、中1ギャップの解消にも一定の成果が見られ

ている。引き続き、共通の教育目標の設定や教育課程の編成など、小中学校間の接続をさらに進められるよう、小中一貫教育の取り組みを推進していく。

新庁舎整備基本構想への 市民ニーズの反映は

公明党 田上 祥子議員



問 地域、世代、職業など、各階層における市民の意見集約はどのように行ったか。

答 市長 関係団体の代表者および公募市民などによる庁舎建設等検討委員会をはじめ、4千人の市民の皆さまを対象としたアンケート調査のほか、市内15地区の自治会連絡協議会や子育て世代の皆さまとの意見交換、高校生・大学生によるワークショップなどを実施し、さまざまな立場の皆さまからのご意見をできる限り反映した。

●オリンピック・パラリンピック教育

問 全小中学校で、競技種目の中の1競技をテーマにして、オリンピックやパラリンピアンを招いて体験事業あるいは講演会などを行うような取り組みを教育委員会がイニシアチブを取り、スポーツ推進課との連携によって、各学校を支援してはどうか。

答 学校教育部長 学校の意見を聞きながら、何ができるのかを考えるとともに、関係部署との連携もしっかりと取りながら、効果的な学習が行えるよう学校を支援していきたい。

問 市職員の意見集約はどのように行ったか。

答 市長 部長職、課長職、担当者レベルの検討組織をはじめ、全職員を対象としたアンケート調査や執務状況のヒアリ

災害時における水の確保についての対応は

新政あつぎ 田口 孝男議員



問 災害時給水協力井戸の取り組み状況と、生活用水確保の考えは。

答 市長 災害時給水協力井戸は、災害時における応急用生活用水や飲料水の水源確保を目的に、約220カ所を指定。速やかな活用を図るため、定期的に水質調査を実施し、指定看板を設置している。今後も、災害時給水協力井戸の登録や企業との協定など、飲料水と生活用水の確保に努める。

問 学校など避難所となる施設へ井戸を設置する考えは。

答 市長室長 効果的な手段の一つであり、地域防災計画の見直しの中で検討する。

●かけこみポイント

問 かけこみポイントの登録件数が、ここ数年

員が退職する時期で、ノウハウをどう活用するか。

答 学校教育部長 ベテラン教員の校内研修での師範授業や若い先生とベテラン教員が気軽に相談できるメンター制度の導入など、知識や技術の継承に努めている。

●田村堀沿いの歩道整備

問 厚木アーバンホテル近くから田村堀の交差点までの歩道について、植樹帯の西側は歩道ではなく道路であり、東側は

ほぼ横ばいの状態だが、現状と課題は。

答 市長 本年7月末現在、2721件の登録がある。今後も新入学児童保護者説明会など、機会を捉え保護者に周知を図るとともに、地域住民の協力を得て、登録件数を増やしていきたい。

●あつぎ駅駅競走大会

問 大会の目的である、スポーツ交流の促進、競技力の向上を念頭に、開催内容を見直す考えはあるか。

答 教育長 コースや距離の変更など見直しを重ね、3年前の第61回大会から現在の開催内容で実施している。今後についても、警察署や関係団体と十分な調整を図りながら、安心安全で魅力あふれる大会になるよう努める。

高校を中途退学した生徒への支援は

あつぎの会 山本 智子議員



問 市内の中学校を卒業し、高校を退学した生徒の実態の把握は可能か。

答 学校教育部長 進学している県立あるいは私立の高校から、退学したことを中学校に知らされることはできないため、人数の把握はできない。

●学び直し・就職の相談

問 出身の中学校に問

い合わせれば、18歳までは相談に応じることだが、詳しい状況は。

答 学校教育部長 青少年教育相談センターが18歳までの青少年を対象に、高校中途退学者や学び直しの相談があれば応じ、また、中学校も、卒業生の状況について相談に乗り、新たな進路選

択への支援をしている。

問 18歳までの進路相談は青少年教育相談センターが対応しているが、18歳以上の受け皿はどこか。

答 学校教育部長 青少年教育相談センターでも相談に応じることが可能。

●公園の樹木剪定

問 自治会も一緒に剪定することが可能か。

答 都市整備部長 自治会から相談があった場合、軽易な作業であれば協力をお願いしたい。

●避難場所などを示す避難誘導標識への対応は

問 夜間対応でソーラー型の標識設置を検討してはどうか。また、誰もが分かるように統一されたユニバーサルデザインのピクトグラムを使用したものに変わってはどうか。

答 市長室長 ソーラーの装置は大変有効だと思う。また、誰にも分かりやすい表示は必要で、今後、新たな表示を行う場合に採用していくべきであると思っている。

●併処理浄化槽への設置の必要性

問 設置替えの工事に際して、市内業者の優先活用の検討をお願いしたいが、設置替えの必要性と周知への対応はどうか。

答 環境農政部長 水質汚濁防止に有効であり、周知については、市ホームページや厚木市環境みどり公社の協力を得てチラシなどを配布している。

無電柱化に向けた整備状況は

新政あつぎ 新川 勉議員



問 本市の取り組みは。平成17年度から27年度にかけて、中心市街地の幹線道路は無電柱化がおおむね完了した。近年は占用事業者などとの合意形成が図られないことや、コスト高などで事業化に時間を要しているが、国が低コスト

化などに取り組んでおり、今後も関係機関と調整を図り無電柱化を進めていく必要がある。

●職員の定年延長

問 課題は何か。

答 総務部長 定員管理の観点から、新規採用への影響が考えられる。多くのベテラン教



新政あつぎ 新井 啓司議員

問 施設の老朽化や交通量などで、気になる児童館がある。これからの児童館の建て替えについてどう考えているか。

答 こども未来部長 児童館は指定緊急避難場所であり、特に土砂災害警戒区域内にある三田児童館は、緊急性、優先度が高いと考えられ、移転先や再整備の方法など移転候補地を含め庁内で検討を進めている。

●一貫した療育の充実

問 教育、保健、福祉、医療、就労などの関係機関の連携は必要不可欠であると思うが、これからの考えは。

答 福祉部長 早期に療育的介入を開始し、支援チームが構成され、統一的な目標の下で一貫した支援が行われ、情報共有ができるきめ細かな横糸と、幼児期から生涯にわたる切れ目のない情報伝達という強い縦糸を、結びつけるコーディネートがあることが大切であると考えている。

●多言語に対応する行政サービス

問 ユーザーがQRコードをスキャンするだけで、自動的に翻訳するQRトランスレーターシステム

答 学校教育部長 まずは学校に関連する資料を紹介していきたい。

●環境農政部長

水質汚濁防止に有効であり、周知については、市ホームページや厚木市環境みどり公社の協力を得てチラシなどを配布している。

答 環境農政部長 水質汚濁防止に有効であり、周知については、市ホームページや厚木市環境みどり公社の協力を得てチラシなどを配布している。

災害時の避難所運営について取り組み

公明党 山崎 由枝 議員



問 安全対策の取り組みは。

答 市長 開設時における施設の点検項目を明確化するなど、避難所の安全確保に努めている。

問 熱中症対策についてはの取り組み状況は。

答 市長室長 ぼうさいの丘公園に移動式のスポットエアコンや大型扇風機を備えており、避難所開設の際に使っていた多くことにしている。

問 備蓄品として液体ミルクを導入する考えは。

答 市長 国内での製造・販売が可能になったことから、今後、災害用備蓄品としての適性を見極めていく。

問 避難所で子どもたちの居場所を確保するための環境づくりを考えているか。

答 市長室長 子ども、高齢者、妊産婦などで、特に配慮が必要となる方

には、別に部屋を設けるなどの対応を避難所運営委員会にお願いしている。

●学力向上の取り組み

問 各種検定の受験に公的補助を設ける考えは。

答 学校教育部長 公的資金を特定の検定に限ることは、公平性において課題があると考えるが、子どもたちが検定で求められる力をしっかりと身に付けられるよう、支援を行うことは考えている。

●外国語指導助手

問 活用の考えは。

答 教育長 現在も各学校が移動教室の活動などを含め、活用することが可能であり、今後もより効果的な教育活動の推進に努めていく。



防災ドアの普及啓発を図る考えは

あつぎの会 名切 文梨 議員



問 地震の際の閉じ込めや盗難被害への対策で、ドア枠がゆがんでも開閉のできる防災用品を市民に周知してはどうか。

答 市長室長 具体的に対応できる製品の実績を確認し、引き続き研究したい。

問 助成などについて検討する考えは。

答 市長室長 助成に

は研究が必要と思われるが、特に命を守るための製品については、市として考えていきたい。

●いじめや虐待の相談窓口

問 SNSを活用する考えは。

答 こども未来部長 東京都や神奈川県で、LINEを活用した児童虐待などの相談を試験実施すると聞いており、その

荻野地区の道路の渋滞解消に向けた対策は

あつぎみらい 松本 樹影 議員



問 朝の鷲尾東入口交差点付近の混雑状況の認識と対策は。

答 道路部長 混雑状況は把握している。今後、交通量調査を実施、分析し、交差点改良箇所として、(仮称)あつぎの道づくり計画に位置付けたい。

問 国道412号のみはる野入口交差点以北は、片側1車線となり混雑しやすい状況となっている

結果を踏まえ効果や課題を検証し、見極めたい。

●一時預かり保育

問 受け入れ時間が8時半から16時半であり、この時間帯では出社や迎えに間に合わない家庭がある。保護者の勤務形態の多様性に配慮した制度を取り入れる考えはあるか。

答 こども未来部長 時間延長のニーズを捉える必要があると考えており、まず公立保育所を対象にニーズ調査し、意向を把握していきたい。

から愛川町の平山坂下交差点間の拡幅などの整備を県に要望している。

健康・交流のみち

問 荻野川ルートの変更箇所とその理由は。

答 道路部長 荻野地区の横林橋から下清田谷橋までの堤防道路と、上

問 本市の放射線量の基準値を超える見学地を訪れているが、見解は。

答 教育長 小学校に必要な情報を提供するなど、安心安全な修学旅行の実施に向け指導や助言を行っている。

一般質問 主な質問と答弁



清田谷橋から源氏橋までの堤防道路を変更した。前者は市道未認定区間があり事業化できず、後者は民有地があり、整備に時間を要するためである。

問 上清田谷橋から源氏橋までの右岸堤防道路の舗装整備の考えは。

答 道路部長 河川協議や地権者などとの調整を図り、整備を進めたい。

選挙の投票率向上

問 駅ビルなどに期日前投票所を増設し、投票率向上につなげる考えは。

答 選挙管理委員会事務局長 移動期日前投票所設置の検討など、投票環境の向上に努めたい。

問 選挙当日、投票区に関係なく投票できる共通投票所の導入の考えは。

答 選挙管理委員会事務局長 二重投票の防止という大きな課題があるため、今後も国や他自治体の状況などを注視する。

問 市民への周知は。していると考えている。

問 市職員が職務を遂行する上で、市民憲章をどのように理解し、行動しているのか。

答 協働安全部長 市民憲章の理念を実践し、努力を重ねてきた結果、現在の厚木市の姿があるものと考えている。今後

問 どのような役割を果たしてきたのか。

答 協働安全部長 市民の総合的な行動規範となるもので、市民の誓いとして地域や職場、学校などで重要な役割を果た

厚木市民憲章の認知度を上げる取り組みは

あつぎみらい 瀧口 慎太郎 議員



問 市民への周知は。していると考えている。

問 市職員が職務を遂行する上で、市民憲章をどのように理解し、行動しているのか。

答 協働安全部長 市民憲章の理念を実践し、努力を重ねてきた結果、現在の厚木市の姿があるものと考えている。今後

問 どのような役割を果たしてきたのか。

答 協働安全部長 市民の総合的な行動規範となるもので、市民の誓いとして地域や職場、学校などで重要な役割を果た

議会用語

解説



■付託

本会議の議決を要する事件について、詳しい検討を加えるため、所管の常任委員会などに審査を委託すること。

■請願・陳情の採択、趣旨採択

請願・陳情の内容について、願意が妥当で法令上、行財政上実現性もあるような場合には、議会として賛同することになり、議会の意思決定は、請願・陳情を採択する方法によりなされることとなります。また、願意は十分に理解できても、市の財政事情などから、当分の間は願意を実現することが不可能である場合などに、便宜的に「趣旨には賛成である」という意味の議決をすることがあり、その趣旨のみを取り上げることから、これを趣旨採択と呼んでいます。



国道412号のみはる野入口交差点以北は、片側1車線となり混雑しやすい状況となっている

委員会の審査

条例・補正予算など —主な質疑と答弁—

条例の制定・改正や補正予算などの議案について、常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

総務企画

○工事請負契約の締結について

問 事業者から独自の提案があったとのことだが、どういふものか。

答 バイクと自転車の出入り口を完全に分ける方法を取り、接触事故を回避している。また、フロアは行き止まりにならないように、利用しやすい設計にしている。さらに、防災備品の収納スペースを確保しており、災害時の非常電源として利用できる可搬型の蓄電池も整備するなど、災害時にも活用できる施設としての機能を持っている。

問 自転車をとどのよう上げるのか。

答 2階以上は、自転車専用のベルトコンベヤーを設置する。

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第4号)

【所管科目】

問 消防資器材整備事業で救命ボートとライフ

ジャケットを整備することだが、今後どのように活用するのか。

答 救命ボートを全ての消防署所に配備し、救助体制のさらなる強化を図り、市民の安心安全を確保する。また、ライフジャケットについては、全消防隊員には既に配備しており、今回は避難者や要救助者用である。

問 指定避難所等安全対策事業は、土砂災害のリスクを調査するとのことだが、危険性があった場合、どう対処をしているかと考えているか。

答 県でレッド指定はしていないが、イエロー指定しているところで、市で危険と思われる場所を予備調査する。ある一定の判断までを今回の委託で考えている。

○厚木市立児童館条例の一部を改正する条例について

問 指導員確保および

市民福祉

研修のためのスケジュールは。また、おひさまタイムは実施する予定か。

環境教育

○厚木市立あつぎ郷土博物館条例について

問 観覧料の詳細は。

答 観覧料は、近隣や都内などの公立博物館の大半が千円以内としていることや、あつぎ郷土博物館の規模なども勘案し、同様の千円以内としており、これを上限に教育委員会として、その都度定めていきたい。

問 子どもについては、観覧料を無料としているが、高齢者に対して無料の措置を考えたのか。

答 教育環境日本一ということ、子どもを無料にしている。高齢者を

無料とすることも考えたかと思っているが、特別展示のみで常設展示は無料としていることも勘案し、高齢者は条例の中に含んでいない。

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第4号)

【所管科目】

問 低公害ごみ収集車について、補正予算で導入することになった経緯は。

答 地区によって狭隘な道や危険な箇所があり、軽貨物自動車による収集を行っている。現在、3台保有しているが、収集班が4班あるため、今回購入することで全ての収集班に配車する。納車まで7カ月以上かかることから、今回、前倒しで導入するものである。

問 現在稼働済みの3台は低公害車か。また、今後の入れ替えの計画は。

答 3台中、2台が現在の基準に適合した低公害車である。保有車両中、38台は10年以上経過しているため、あつぎ元氣プランの実施計画に基づき、2020年度までは毎年3台ずつ購入する計画である。

委員会の所管事項調査など

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。

このほど実施した所管事項調査および行政視察は次のとおりです。

- ◆議会運営委員会
10月16・17日、議会改革の取り組みについて(兵庫県西脇市)
- ◆広報広聴特別委員会
10月23・24日、議会報告会について(福岡県大牟田市)

都市経済

○市道路線の認定について

問 議案第72号の酒井地内から上落合地内における新東名高速道路建設事業に伴う新たな2路線の認定について、G-4

73の形態は。

議会運営の在り方など 議長の諮問に答申

—議会運営委員会—

平成29年10月3日に難波達哉議長が諮問した「議会の在り方に関する検討について」に対し、7月20日付で議

答申書

【検討事項】
議会の在り方に関する検討について

【検討結果】
それぞれの項目については、次のとおりとする。

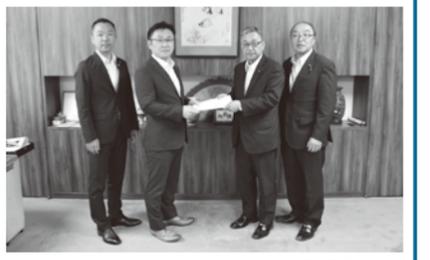
- 1 議員のうちから選任する監査委員の任期及び要件の見直しについて
これまでと同様に、市政各般にわたり豊富な知識と経験を持つ議員を市長に推薦することとする。
- 2 決算審査の実施方法の検討について
決算審査の実施方法については、次のとおりの方角性とする。ただし、執行機関にも影響を与える。
- 3 議員任期4年の中で、それぞれの常任委員会に所属する機会を残すため、任期については、これまでと同様に1年とする。
- 4 議員提出議案での条例提案について
これまでと同様に会派代表者会議に提案し、その中でプロジェクトチームの設置や常任委員会での協議等、具体的な進め方を協議することとする。
- 5 予算及び決算を所管する常任委員会の正副委員長の選任方法は、あらかじめ方向性を出しておく。

問 G-473は、東側については厚木戸田線に接続する。西側については、幅員4.5mの歩行者専用道路が既存市道に接続する。

答 厚木一番街商店街振興組合にある29基の街路灯のうち、当初予算で10基のLED化を予定していたが、街路灯のトラブルなどにより、今年度29基全てをLED化した。1つの商店会側の判断により、残り19基を補正

業補助金について、内容は。問 市内商店会にある街路灯のLED化率は。

答 現在、768基あるうち、5商店会で343基がLED化され、LED化率は44.7%である。今回の補正により、LED化率は48.4%になる予定である。



難波議長に答申書を手渡す川口委員長(右) (左端=遠藤副議長、右端=高橋副委員長)

平成29年度 決算の認定

平成29年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算および病院事業会計決算は、定例会議初日に各常任委員会に分割付託され、所管科目について、慎重な審査を行った結果、全会計とも認定すべきものと決しました。最終日の各委員長報告に盛り込まれた要望事項などを紹介します。

決算の概要

平成29年度は、一般会計としては過去最大規模となる「あつぎの元気進取予算」の下、将来を見据えた事業に取り組みました。

歳入面では、市税などの収納対策の強化、国庫補助金や県補助金の確保などに努められました。

一方、歳出面では、都市基盤整備・地域経済活性化の推進、人口の将来展望を実現するための地方創生の推進など、将来を見据え継続的な取り組みが必要な事業について、着実に取り組まれました。

今後も、さまざまな面で多くの財政需要が見込まれることから、中・長期の視点から財源確保などへの取り組みや経常的経費の削減を引き続き行うとともに、事業の優先順位を検討し、重点的かつ効率的な財源の活用を図りながら、的確な施策の展開を行っていく必要があります。

要望事項

各常任委員会での審査

の結果、最終日に各常任委員長から、次のとおり要望事項が報告され、今年度および来年度以降の行財政運営に反映させ、対応されることを期待しました。

総務企画

1 厳しい財政状況の中、各種事業計画策定には市民満足度の向上を最優先させるとともに、課題解決を含めて事業の見直しや廃止への英断等を行うなど、市民生活に大きな影響を及ぼさないよう、しっかりと見極めながら来年度予算に反映されたい。

2 災害に強いまちづくりを進めるには、危機管理、災害対策及び消防機能は今後ますます重要となるため、そのための財源確保及び適正な事業執行に鋭意努力されたい。

3 職場の業務量に見合った職員配置による時間外勤務の解消並びに身体及びメンタルのケアに努めるとともに、スマートワーク宣言をもとにした、風通しのよい職場環境の改善により、市民サービスの向上を図られたい。

市民福祉

1 増大する民生費の総体的かつ大胆な見直しと、各補助金等の適正な運用を図り、多様化する市民福祉施策のさらなる進展に努めるとともに、常に弱者の痛みに寄り添うことを心がけられたい。

2 少子化及び世界でも類を見ない超高齢社会が進展する中で、医療・介護・保育の現場で働く人々の待遇改善や、職場環境の整備により、人材確保に努め、地域包括ケア社会の実現に向けた取り組みをより一層推進されたい。

環境教育

1 環境農政及び教育関係における施設や設備の老朽化が進む中、安全の確保を最優先とし、中長期的な維持管理計画・投資計画の策定により戦略的に総費用及びランニングコストの縮減を図るとともに、平準化に努められたい。また、事業費についても計画的な予算執行に努められたい。

2 環境農政に関する施策については、地域が抱える課題や地元要望に対し、迅速かつ適切な対応を図られたい。

都市経済

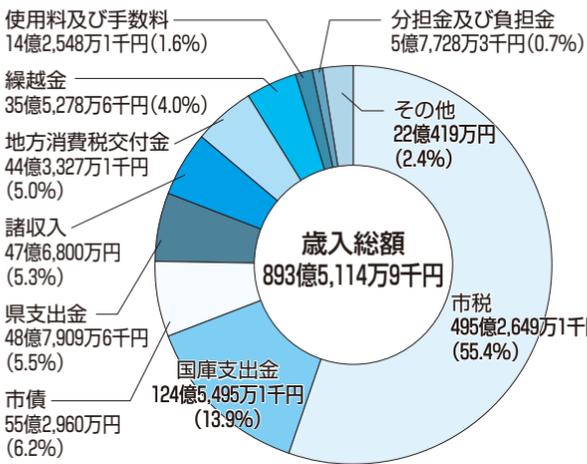
1 社会資本の中長期的な維持管理計画については、安全の確保を最優先とし、投資的事項も視野に入れながら策定するとともに、半世紀にも及ぶ未実施計画については、大胆な見直しを図られたい。

2 持続可能な将来を見据えたまちづくりを進めるため、社会資本の整備に当たっては、点や線ではなく一体的に行い、中心市街地の整備を初めとした各種事業に対しては、市民要望を積極的かつ柔軟に取り入れながら事業内容を十分に精査・検討し、適正な事業推進を図るとともに、魅力ある企業の誘致及び育成に努められたい。また、工事の発注に関しては、可能な限り市内事業者が受注できる形をとり、地域経済の活性化に努められたい。

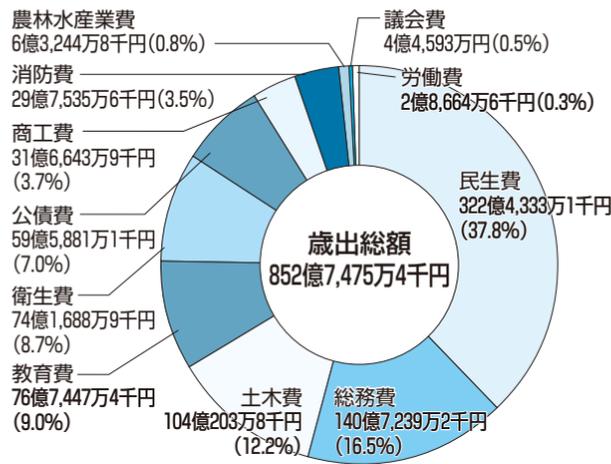
平成29年度決算の内容

一般会計決算

歳入内訳



歳出内訳(目的別)



市民1人当たりに使われた金額

378,672円

※一般会計歳出総額85,274,753,948円を平成30年4月1日現在の人口225,194人で割ったもの

【主な使い道(目的別)の内訳】

- ◆民生費・・・143,180円 (社会福祉費、児童福祉費、生活保護費など)
- ◆総務費・・・62,490円 (総務管理費、企画文化費、徴税費など)
- ◆土木費・・・46,191円 (都市計画費、道路橋りょう費、土木管理費など)
- ◆教育費・・・34,079円 (小・中学校費、社会教育費、教育総務費など)
- ◆衛生費・・・32,936円(清掃費、保健衛生費)
- ◆公債費・・・26,461円(借入金返済)
- ◆商工費・・・14,061円(商工費)
- ◆その他・・・19,274円

会計別決算

(単位: 円)

| 会計名 | 予算現額 | 収入済額 | 支出済額 | 収支差引額 | 翌年度繰越財源額 | 翌年度繰越又は繰上充用額 | |
|------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|-------------|---------------|-------------|
| 一般会計 | 92,251,992,754 | 89,351,149,285 | 85,274,753,948 | 4,076,395,337 | 256,453,198 | 3,819,942,139 | |
| 特別会計 | 公共用地取得事業 | 677,481,221 | 255,272,158 | 249,265,396 | 6,006,762 | 6,006,762 | 0 |
| | 後期高齢者医療事業 | 2,571,493,000 | 2,561,800,326 | 2,541,721,801 | 20,078,525 | 0 | 20,078,525 |
| | 国民健康保険事業 | 27,816,230,000 | 27,006,809,093 | 26,471,959,890 | 534,849,203 | 0 | 534,849,203 |
| | 介護保険事業 | 13,585,197,000 | 13,236,190,284 | 12,443,269,092 | 792,921,192 | 0 | 792,921,192 |
| | 公共下水道事業 | 7,352,103,000 | 6,714,167,054 | 6,588,028,588 | 126,138,466 | 16,982,000 | 109,156,466 |
| 小計 | 52,002,504,221 | 49,774,238,915 | 48,294,244,767 | 1,479,994,148 | 22,988,762 | 1,457,005,386 | |
| 合計 | 144,254,496,975 | 139,125,388,200 | 133,568,998,715 | 5,556,389,485 | 279,441,960 | 5,276,947,525 | |

【参考】平成28年度一般会計決算額 歳入総額82,510,428,664円、歳出総額78,957,642,575円

病院事業会計

(単位: 円)

企業会計のため、一事業年度の経営活動に伴い発生する「収益的収支」と、将来の経営活動に備えて行う施設整備などに伴い発生する「資本的収支」に分かれています。

◆収益的収支 ※平成29年度純損失1,505,463,030円

| 収入総額 | 9,642,116,464 | 支出総額 | 11,144,433,743 |
|-----------------|---------------|------------------|----------------|
| (9,628,338,346) | | (10,928,879,635) | |
| 医業収益 | 8,995,622,710 | 医業費用 | 10,411,486,800 |
| 医業外収益 | 552,288,322 | 医業外費用 | 218,144,444 |
| 特別利益 | 94,205,432 | 特別損失 | 514,802,499 |

() 内は、消費税および地方消費税抜きの金額

◆資本的収支

| 収入総額 | 1,958,445,831 | 支出総額 | 2,490,611,728 |
|--------|---------------|--------|---------------|
| 負担金 | 340,787,000 | 建設改良費 | 1,698,745,245 |
| 企業債 | 1,563,900,000 | 企業債償還金 | 783,684,735 |
| 貸付返還金 | 2,640,000 | 投資 | 8,181,748 |
| 基金繰入金 | 4,118,831 | | |
| 他会計借入金 | 47,000,000 | | |

◎印は委員長、○印は副委員長
※()は会派(正式名称は下表参照)。
無会派は会派に所属していない議員

常任委員・議会運営委員・特別委員一覧【平成30年8月7日現在】

| | | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総務企画 常任委員会(7人) ◎神子 雅人(みらい) ○新井 啓司(新政) 奈良 握(あつぎ) 釘丸 久子(共産党) 渡辺 貞雄(みらい) 難波 達哉(みらい) 川口 仁(公明党) | 市民福祉 常任委員会(7人) ◎田上 祥子(公明党) ○瀧口 慎太郎(みらい) 山本 智子(あつぎ) 栗山 香代子(共産党) 山崎 由枝(公明党) 新川 勉(新政) 松田 則康(みらい) | 環境教育 常任委員会(7人) ◎沼田 幸一(みらい) ○高橋 知己(新政) 望月 真実(あつぎ) 高田 浩(無会派) 松本 樹影(みらい) 寺岡 まゆみ(公明党) 田口 孝男(新政) | 都市経済 常任委員会(7人) ◎名切 文梨(あつぎ) ○高橋 豊(みらい) 井上 武(新政) 遠藤 浩一(公明党) 越智 一久(みらい) 井上 敏夫(あつぎ) 石井 芳隆(新政) | 議会運営 委員会(9人) ◎川口 仁(公明党) ○渡辺 貞雄(みらい) 山本 智子(あつぎ) 釘丸 久子(共産党) 寺岡 まゆみ(公明党) 田口 孝男(新政) 越智 一久(みらい) 松田 則康(みらい) 石井 芳隆(新政) |
| 広報広聴 特別委員会(9人) ◎越智 一久 ○栗山 香代子 望月 真実 瀧口 慎太郎 山崎 由枝 高橋 知己 田口 孝男 沼田 幸一 井上 敏夫 | 新庁舎建設 特別委員会(9人) ◎田上 祥子 ○新川 勉 名切 文梨 瀧口 慎太郎 井上 武 釘丸 久子 渡辺 貞雄 越智 一久 川口 仁 | | | |

会派名(表記)と所属議員一覧

○は代表者【平成30年11月1日現在】

| 会派名(所属議員数) | 会派表記 | 所属議員氏名(住所、電話番号) |
|----------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| あつぎみらい (9人) | みらい | ○神子 雅人(戸田1862-1 ☎220局1233) 高橋 豊(愛甲4-5-5 ☎247局8453) 瀧口 慎太郎(長谷1526 ☎247局1058) 渡辺 貞雄(飯山4544 ☎241局1726) 松本 樹影(上萩野1344-1 ☎242局5550) 難波 達哉(下萩野1413 ☎291局1750) 越智 一久(七沢1219 ☎248局0567) 沼田 幸一(下古沢121 ☎248局0180) 松田 則康(猿ヶ島233-1 ☎245局1820) |
| 新政あつぎ (6人) | 新政 | ○石井 芳隆(金田478 ☎222局2658) 井上 武(幸町2-9 ☎229局2929) 高橋 知己(毛利台3-28-12 ☎248局0612) 田口 孝男(妻田北2-16-18 ☎222局7129) 新川 勉(旭町5-21-2 ☎220局4288) 新井 啓司(毛利台3-30-6 ☎248局4915) |
| 公明党 (5人) | 公明党 | ○川口 仁(山際1020-4 ☎245局8794) 寺岡 まゆみ(戸室2-23-20 ☎223局7207) 遠藤 浩一(中町4-10-4-406 ☎296局7229) 山崎 由枝(棚沢205-3 ☎241局8527) 田上 祥子(林2-24-10 ☎221局1361) |
| あつぎの会 (5人) | あつぎ | ○奈良 握(栄町2-10-22 ☎222局9379) 望月 真実(幸町9-6-1 ☎295局8420) 名切 文梨(戸室1-24-20-606 ☎222局2787) 山本 智子(宮の里3-3-6 ☎241局9114) 井上 敏夫(金田727 ☎222局2151) |
| 日本共産党 厚木市議員団 (2人) | 共産党 | ○釘丸 久子(毛利台1-19-10-21 ☎248局1925) 栗山 香代子(恩名5-8-1-1301 ☎247局8595) |
| 無会派 (1人) | 無会派 | 高田 浩(鳶尾5-2-17 ☎242局1930) |

※望月議員の住所は事務所となっております。

市議会選出の各種委員会委員など

【平成30年11月1日現在】

- ◆厚木市監査委員/越智一久
- ◆厚木愛甲環境施設組合議会議員/名切文梨、栗山香代子、松本樹影、神子雅人、松田則康、川口仁、石井芳隆
- ◆公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団評議員/難波達哉
- ◆国道246号バイパス建設促進協議会委員/難波達哉
- ◆国道412号線建設改良促進協議会委員/難波達哉
- ◆首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会参与/難波達哉
- ◆新東名高速道路建設促進期成同盟会参与/難波達哉
- ◆厚木市都市計画審議会委員/難波達哉、名切文梨
- ◆厚木市青少年問題協議会委員/田上祥子
- ◆鳶尾山対策協議会委員/松本樹影、山崎由枝、田口孝男、田上祥子
- ◆主要地方道伊勢原津久井線建設改良促進協議会委員/越智一久
- ◆上飯山中津上依知線道路整備促進協議会顧問・委員/難波達哉、渡辺貞雄、松本樹影、松田則康、石井芳隆
- ◆中津川堤防道路整備促進協議会顧問・委員/難波達哉、山崎由枝、田口孝男、松田則康、川口仁、田上祥子、井上敏夫、石井芳隆
- ◆座間荻野線建設促進協議会顧問・委員/難波達哉、高田浩、松本樹影、山崎由枝、松田則康、川口仁、井上敏夫、石井芳隆

第13回 議会報告会

市民と議会の意見交換会を開催

【日時・会場】

11月18日(日) 15時~16時30分

依知北公民館 集会室1・2

【内容】 ◆ 議会報告 平成29年度決算の審査概要
◆ 意見交換 「地域包括ケア社会について」
「防災対策について」

同日開催

議会基本条例の一部改正に係る意見交換会

【日時・会場】

11月18日(日) 16時40分から

依知北公民館 集会室1・2

※申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

議会運営の在り方など 具体的な検討が始まる

— 議会の在り方検討会を設置 —

難波達哉議長は、10月2日に議会運営委員会に対し、議会運営の在り方など、下記の5項目を諮問しました。
諮問を受けた議会運営委員会は、委員9人で構成される議会の在り方検討会(川口仁会長)を設置し、具体的な協議を進めていきます。
会議は、原則公開とし、インターネット中継も実施。日程は、ホームページでお知らせします。

【諮問事項】

- 予算及び決算の審査方法について
- 会派結成等における委員会構成への反映の原則について
- 議員提案条例の具体化について
- 議会事務局の強化について
- 議会の意向反映のルール化について

本会議の審議結果

| 第3回会議提出案件 | | 各会派の賛否 ○…賛成、●…反対 | | | | | | 議決結果 |
|-----------|------------------------|------------------|----|-----|-----|-----|-----|------|
| | | みらい | 新政 | 公明党 | あつぎ | 共産党 | 無党派 | |
| 議案第54・55号 | 工事請負契約の締結について(2件) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第56号 | 平成30年度厚木市一般会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |

◎平成30年8月7日議決時の会派構成など

※議長…難波達哉(議長は採決に加わりません)、副議長…遠藤浩一 ※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員(―は代表者)

みらい…あつぎみらい(9): 榎子雅人、高橋豊、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、松本樹影、難波達哉、越智一久、沼田幸一、松田則康 新政…新政あつぎ(6): 石井芳隆、井上武、高橋知己、田口孝男、新川勉、新井啓司 公明党…公明党(5): 川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山崎由枝、田上祥子 あつぎ…あつぎの会(5): 奈良握、望月真実、名切文梨、山本智子、井上敏夫

共産党…日本共産党厚木市議員団(2): 釘丸久子、栗山香代子 無党派…無党派(1): 高田浩

| 第4回会議(9月定例会議)提出案件 | | 各会派の賛否 ○…賛成、●…反対、△…除斥 | | | | | | 議決結果 |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------|----|-----|-----|-----|-----|------|
| | | みらい | 新政 | 公明党 | あつぎ | 共産党 | 無党派 | |
| 議案第57号 | 教育長の任命について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 議案第58号 | 教育委員会委員の任命について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 議案第59号 | 平成29年度厚木市一般会計歳入歳出決算について | ○ | ○ | ○ | ○● | ● | ○ | 認定 |
| 議案第60号 | 平成29年度厚木市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算について | ○ | ○ | ○ | ○● | ○ | ○ | 認定 |
| 議案第61号 | 平成29年度厚木市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について | ○ | ○ | ○ | ○● | ● | ○ | 認定 |
| 議案第62号 | 平成29年度厚木市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について | ○ | ○ | ○ | ○● | ● | ○ | 認定 |
| 議案第63号 | 平成29年度厚木市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について | ○ | ○ | ○ | ○● | ● | ○ | 認定 |
| 議案第64号 | 平成29年度厚木市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について | ○ | ○ | ○ | ○● | ○ | ○ | 認定 |
| 議案第65号 | 平成29年度厚木市病院事業会計決算について | ○ | ○ | ○ | ○● | ○ | ○ | 認定 |
| 議案第66号 | 厚木市立あつぎ郷土博物館条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第67号 | 厚木市手数料条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第68号 | 厚木市立老人憩の家条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第69号 | 厚木市立児童館条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第70号 | 厚木市市営住宅条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第71号 | 工事請負契約の締結について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第72~79号 | 市道路線の認定について(8件) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第80号 | 平成30年度厚木市一般会計補正予算(第4号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議案第81号 | 監査委員の選任について | ○△ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 請願第2号 | 「消費税増税中止を求める意見書」を国に提出することを求める請願 | ● | ● | ● | ○● | ○ | ● | 不採択 |
| 陳情第17号 | 国による義務教育財源の保障及び教育の機会均等と水準の維持・向上、並びに行き届いた教育の実現を求める意見書を国に提出することを求める陳情 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 採択 |
| 陳情第18号 | 心身障害者医療費助成を精神障害者保健福祉手帳2級にも拡大・適用することを求める陳情 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | 趣旨採択 |
| 陳情第19号 | 2019年度における「重度障害者医療費助成制度」継続についての陳情 | ● | ● | ● | ○● | ○ | ● | 不採択 |
| 陳情第20号 | 2019年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情 | ● | ● | ● | ○● | ○ | ● | 不採択 |
| 陳情第21号 | 2019年度における療養介護施設での透析医療のあり方についての陳情 | ● | ● | ● | ○● | ○ | ● | 不採択 |
| 陳情第22号 | 「核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を国に求める意見書」を国に提出することを求める陳情 | ● | ○● | ● | ○● | ○ | ● | 不採択 |
| 陳情第23号 | 「核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を国に求める意見書」を国に提出することを求める陳情 | ● | ● | ● | ○● | ○ | ● | 不採択 |
| 議員提出議案4号 | 国による義務教育財源の保障及び教育の機会均等と水準の維持・向上、並びに行き届いた教育の実現を求める意見書について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |

◎「議案第81号 監査委員の選任について」は、本人の監査委員選任議案のため、地方自治法第117条の規定により越智一久議員(あつぎみらい)を除斥し、採決が行われました。

◎「陳情第18号 心身障害者医療費助成を精神障害者保健福祉手帳2級にも拡大・適用することを求める陳情」は、所管の委員会での審査結果が「趣旨採択」であったことから、趣旨採択することについて本会議で採決した結果を掲載しています。

◎平成30年10月5日議決時の会派構成など ※議長…難波達哉(議長は採決に加わりません)、副議長…遠藤浩一 ※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員(―は代表者)

みらい…あつぎみらい(9): 榎子雅人、高橋豊、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、松本樹影、難波達哉、越智一久(議案第81号除斥)、沼田幸一、松田則康 新政…新政あつぎ(6): 石井芳隆、井上武(陳情第22号賛成)、高橋知己、田口孝男、新川勉、新井啓司 公明党…公明党(5): 川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山崎由枝、田上祥子

あつぎ…あつぎの会(5): 奈良握(議案第59号~第64号反対、請願第2号賛成、陳情第19号~第21号賛成)、望月真実、名切文梨(議案第65号反対、請願第2号賛成)、山本智子、井上敏夫(陳情第22・23号反対) 共産党…日本共産党厚木市議員団(2): 釘丸久子、栗山香代子 無党派…無党派(1): 高田浩

第3回

あつぎ子ども議会

中学生議会を開催

8月22日、第3回あつぎ子ども議会(中学生議会)を厚木市議場で開催しました。市内の中学生28人が子ども議員となり、日ごろから関心のあつた事項について、質問しました。



左側通路手前から難波議長、遠藤副議長、曾田教育長、右側通路手前から小林市長、霜島副市長、松本副市長

主な質問と答弁

問 山際へ広域避難場所を整備する考えはありますか。

答 市長 現在、山際地区に防災機能を備えた(仮称)北部地区公園の整備計画を進めています。

問 インクルーシブ教育のために、具体的に何をしたらよいのでしょうか。

答 教育長 皆さんができることは、クラスや学校で困っている人がいたら、何ができるか。

問 子どもの議員の質問と市長・教育長からの答弁を紹介いたします。

のか、どうすれば解決できるのかを考え、話し合い、実践することです。

問 まちの活性化のためにどのようなことをしていますか。

答 市長 現在、本厚木駅南口の再開発を進めるとともに、バスセンター周辺の整備を計画しています。また、各種イベントを開催することにより、中心市街地のにぎわい創出を図っています。